

東ゴールドフィールド地域の鉱床と花崗岩類

〈石原舜三〉



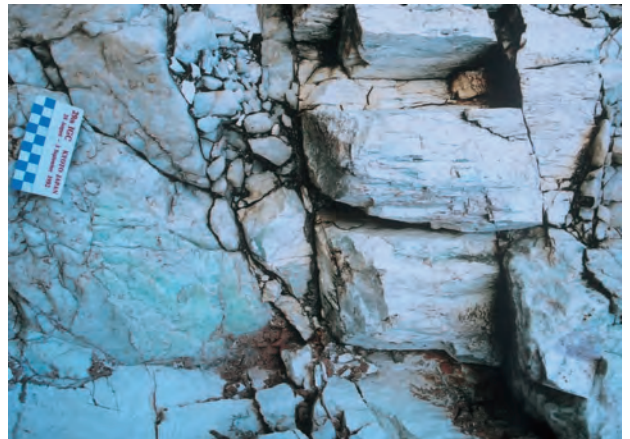
1. カルグーリ市街にある金山，ゴールドン鉱山のスーパーピット(2005年9月28日)。



2. ゴールドン鉱山のAu-Ag-Hgテルル化合物と磁硫鉄鉱に富む金鉱石。



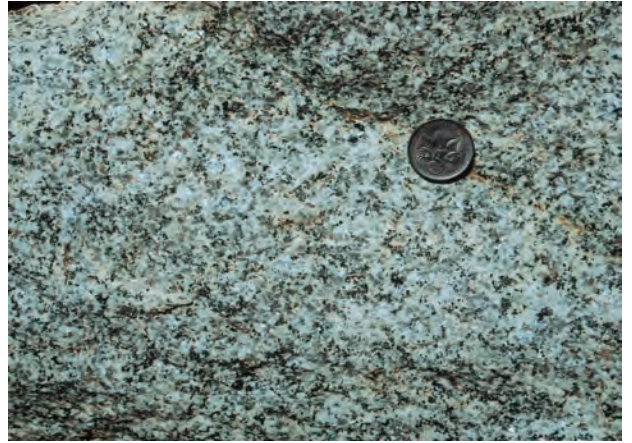
3. リチウムに富む花崗岩質ペグマタイト，ロンドンデリー。



4. 主にスポデュメン(淡青色)を採掘，ツンワルダイトも多い。



5. 高カルシウムタイプの不均質な露頭。片麻状構造が著しく、岩脈も多い。



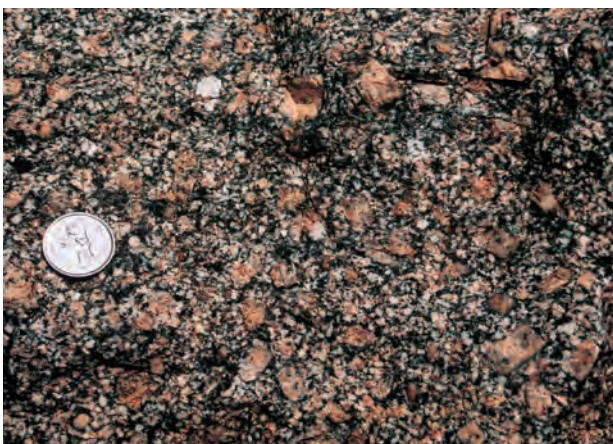
8. HFSEタイプ、帯磁率は低い(0.05×10^{-3} SI)。



6. 高カルシウムタイプの斑状花崗岩。細粒花崗岩(右側)に貫入される。



9. 金鉱床近くの変質破碎花崗岩(赤鉄鉱-アルバイト-炭酸塩化)。



7. 苦鉄質タイプの斑状岩(コイン直径は20mm)。



10. カオリナイト化花崗岩。案内者は単なる風化物と説明したが、熱水活動の可能性もある。